瀬戸市
循環型社会形成推進地域計画

瀬　戸　市

令和 2 年 11 月 24 日　策定

令和 4 年　1 月　5 日　変更

令和 4 年 12 月　9 日　変更

令和 5 年 11 月 27 日　変更

令和 7 年　3 月　5 日　変更

地　域　計　画　目　次

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項 1
2. 循環型社会形成のための現状と目標 2
3. 施設の内容 4
4. 計画のフォローアップと事後評価 6
様式 1 7
様式 2 10
【参考資料様式 6】 11
【参考資料様式 7】 12
【参考資料様式 8】 13
【添付資料 1：人口等指標のトレンドグラフ】 14
【添付資料 2：浄化槽整備区域図】 15
【添付資料 3：既存施設の位置】 17
【添付資料 4：土砂災害ハザードマップ】 18

１．地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構 成 市 名：瀬戸市

面　　積：111.40km^2

人　　口：129,410人（令和2年4月1日現在）

(2) 計画期間

本計画は、令和２年４月１日から令和８年３月 31 日までの６年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

本市は、濃尾平野の東、尾張丘陵の一角にあり、中部経済圏の中心地である名古屋市の北東約 20km に位置している。また、周囲を小高い山々に囲まれ気候も温暖。しかも丘陵地帯には瀬戸層群と呼ばれる新第三紀鮮新世の地層があり、やきものの原料となる良質の陶土やガラスの原料となる珪砂を豊富に含んでいる。北部や東部の山間地帯には、樹林が広がり、豊かな自然もいまなお多く残されている。

生活排水処理対策としては、本市の特性に合わせ公共下水道、合併処理浄化槽で整備を進め、生活環境の改善及び汚水の適正処理を行っていくものとする。

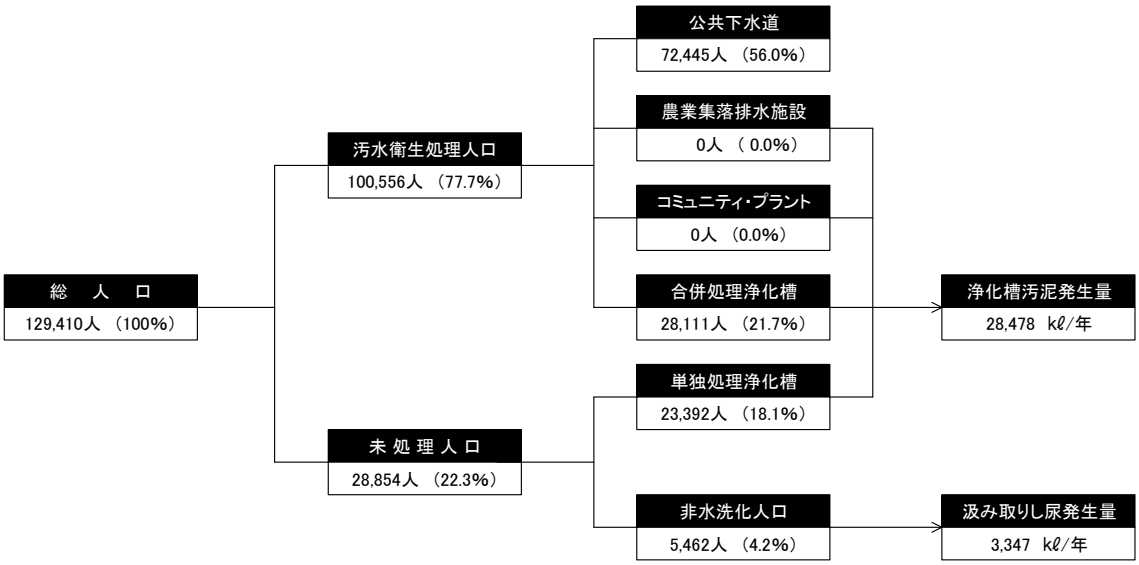
(4) 広域化の検討状況

瀬戸市クリーンセンターでは、本市から発生するし尿、浄化槽汚泥を単独処理している。広域化については、周辺自治体と協議を行っているが、今後も現状の処理体制を維持していく予定である。

２．循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 生活排水の処理の現状

令和元年度の生活排水の処理状況及びし尿・浄化槽汚泥等の発生量は図 1 に示すとおりである。



※汚水衛生処理人口：汚水処理施設に接続されている人口

図１　生活排水の処理状況フロー［令和元年度］

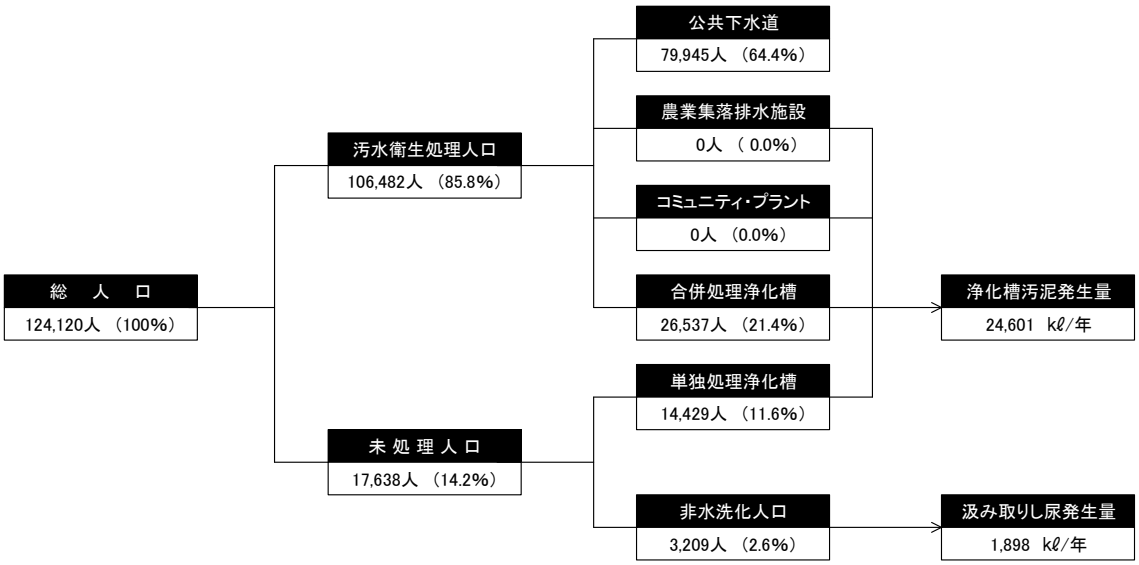
(2) 生活排水の処理の目標

生活排水処理については、表 1 と図 2 に掲げるとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

表１　生活排水処理に関する現状と目標

		令和元年度実績	令和8年度目標
処理形態別人口	公共下水道	72,445人（56.0%）	79,945人（64.4%）
	農業集落排水施設	0人（　0%）	0人（　0%）
	コミュニティ・プラント	0人（　0%）	0人（　0%）
	合併処理浄化槽	28,111人（21.7%）	26,537人（21.4%）
	未処理人口	28,854人（22.3%）	17,638人（14.2%）
	合　　計	129,410人	124,120人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	3,347 kℓ	1,898 kℓ
	浄化槽汚泥量	28,478 kℓ	24,601 kℓ
	合　　計	31,825 kℓ	26,499 kℓ

※ 四捨五入により合計が 100%とならない場合がある。



※汚水衛生処理人口：汚水処理施設に接続されている人口

図 2　目標達成時の生活排水の処理状況フロー［令和 8 年度］

３．施策の内容

(1) 広報・啓発活動

ア　生活排水対策

生活排水対策の必要性、浄化槽管理の重要性、家庭でできる排水対策等について住民に周知を図るため、定期的な広報・啓発活動を実施する。また、浄化槽については、定期的な保守点検、清掃及び法定検査について、広報等を通じて、その徹底に努めるものとする。

(2) 処理体制

ア　生活排水処理の現状と今後

公共下水道による生活排水処理を基本とし、その計画的整備と接続の推進に努めると共に、公共下水道等の整備が当分の間見込まれない地域については、合併処理浄化槽の整備を進めていく。

また、し尿・浄化槽汚泥の処理については、「瀬戸市クリーンセンター」の延命化を図り、老朽化に対する整備を引き続き行う。

(3) 処理施設等の整備

ア　廃棄物処理施設

上記 (2) の処理体制で処理を行うため、表 2 に示すとおり必要な施設整備を行う。

表 2　整備する処理施設

事業番号	整備施設種類 施設名	事　業　名	処理能力	設置予定地	事業期間	国土強靭化
1	し尿処理施設 瀬戸市クリーンセンター	瀬戸市クリーンセンター 基幹的設備改良事業	88 kℓ/日	愛知県瀬戸市 西山路町一番地	令和 5～ 7 年度	―

（整備理由）

事業番号 1　「瀬戸市クリーンセンター」は昭和 63 年に運転開始し、稼働当初から 32 年経過していることから、施設の延命化と地球温暖化対策として、基幹的設備改良事業を実施する。

イ　合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、表3に示すとおり行う。

表3　合併処理浄化槽の整備計画

事　　業	直近の整備済 基　数（基） （令和元年度）	整備計画 基　数 （基）	整備計画 人　口 （人）	事業期間	国土強靭化
浄化槽設置整備事業	1,123	60	359	令和3～ 7年度	―

※H22年1月28日環境省事務連絡、浄化槽整備のみを行う場合における循環社会形成推進地域計画の取り扱いについてより、令和2年度の浄化槽設置整備事業費は申請済。

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表4に示すとおり計画支援事業を行う。

表4　実施する計画支援事業

事業番号	事　業　名	事　業　内　容	事業期間
1	瀬戸市クリーンセンター基幹的設備改良事業（事業番号1）に係る工事発注支援等事業	工事発注支援等	令和4年度
	瀬戸市クリーンセンター基幹的設備改良事業（事業番号1）に係る実施設計事業	実施設計	令和5～7年度

(5) 廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表5のとおり長寿命化総合計画策定支援事業を行う。

表5　実施する長寿命化総合計画策定支援事業

事業番号	事　業　名	事　業　内　容	事業期間
1	瀬戸市クリーンセンター基幹的設備改良事業（事業番号1）に係る調査事業	長寿命化総合計画策定	令和3年度

(6) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア　災害時の廃棄物処理に関する事項

震災や水害等が発生した場合、道路の通行不能や施設の破損等により、平常時と同じような収集・運搬や処理、処分の対応が困難となることが想定される。

そのため、瀬戸市地域防災計画を踏まえ、災害時に発生するし尿等の処理体制の確保を図るため、近隣市町及び民間事業等との連携体制を強化する。

４．計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本市は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

様式１

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画　総括表１

１．地域の概要

(1)地域名	瀬戸市	(2)地域内人口	129,410人	(3)地域面積	111.40 km^2
(4)構成市町村等名	瀬戸市	(5)地域の要件	(人口) 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		

２．一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位 年		過去の状況・現状（排出量等に対する割合）						目　標
排出量	事業系　総排出量（トン） 1事業所当たりの排出量（トン/事業所） 生活系　総排出量（トン） 1人当たりの排出量（ｋｇ/人） 合計　事業系生活系の総排出量合計（トン）							
再生利用量	直接資源化量（トン） 総資源化量（トン）							
エネルギー回収量	エネルギー回収量（年間の発電電力量　MWH）							
	（年間の熱利用量　GJ）							
減量化量	減量化量（中間処理前後の差　トン）							
最終処分量	埋立最終処分量（トン）							

※　別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

一般廃棄物処理計画と目標値が異なる場合に、地域計画と一般廃棄物処理計画との整合性に配慮した内容

様式１

３．一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

(1) 現有施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力（単位）	竣工年月	廃止又は休止（予定）年月	解体（予定）年月	想定される浸水深と対策	備考
し尿処理施設	瀬戸市クリーンセンター	瀬戸市	高負荷脱窒素処理方式	125kℓ/日	S63.4	未定	未定	（浸水深0m）浸水対策なし	

※ 別添資料として既設の位置図を添付した。（添付資料 3）

（２）更新（改良）・新設施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力（単位）	竣工予定年月	更新（改良）・新設理由	廃焼却施設解体の有無（解体施設の名称）	廃焼却施設解体事業着手（予定）年月 完了（予定）年月	想定される浸水深と対策	プラスチック再商品化を実施するための施設整備事業	備考
し尿処理施設	瀬戸市クリーンセンター	瀬戸市	高負荷脱窒素処理方式	88kℓ/日	R8.4	施設の延命化及びCO_2排出量削減のための基幹的設備改良	無	—	（浸水深0m）浸水対策なし	—	

様式１

４．生活排水処理の現状と目標

指標・単位		過去の状況・現状							目　標
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和8年度
総人口		131,269	130,676	130,298	129,900	129,550	129,410	129,096	124,120
公共下水道	汚水衛生処理人口	64,637	66,185	67,272	69,394	70,473	72,445	73,983	79,945
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	49.2	50.6	51.6	53.4	54.4	56.0	57.3	64.4
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	－	－	－	－	－	－	－	－
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	26,031	26,949	28,793	29,255	28,564	28,111	27,552	26,537
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	19.8	20.6	22.1	22.5	22.0	21.7	21.3	21.4
未処理人口	汚水衛生処理人口	40,601	37,542	34,233	31,251	30,513	28,854	27,561	17,638

※別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。（添付資料 1）

５．浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施　設　種　別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備　考
		基　数	処理人口	開始年度	基　数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	瀬戸市	1,123	7,395	平成元年度	60	359	R8	

※計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付した。（添付資料 2）
※H22 年 1 月 28 日環境省事務連絡、浄化槽整備のみを行う場合における循環社会形成推進地域計画の取り扱いについてより、令和 2 年度の浄化槽設置整備事業費は申請済。

様式２

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表２

事業種別 事業名称	事業番号	事業主体名称	規模	単位	事業期間 開始	終了	総事業費（千円）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	交付対象事業費（千円）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
○し尿処理に関する事業																					
基幹的設備改良事業	1	瀬戸市	88	kℓ/日	R5	R7	1,946,844				58,779	1,888,065	0	740,246				5,369	734,877	0	
○浄化槽に関する事業																					
浄化槽設置整備事業	2	瀬戸市	60	基	R3	R7	31,754		6,520	6,520	6,238	6,238	6,238	31,754		6,520	6,520	6,238	6,238	6,238	
○施設整備に関する計画支援事業							62,787			5,830	584	22,118	34,255	62,787			5,830	584	22,118	34,255	
工事発注支援等事業	1	瀬戸市			R4	R4	5,830			5,830				5,830			5,830				
実施設計事業	1	瀬戸市			R5	R7	56,957				584	22,118	34,255	56,957				584	22,118	34,255	
○廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援事業	1	瀬戸市			R3	R3	3,300		3,300					3,300		3,300					
合　　計							2,044,685		9,820	12,350	65,601	1,916,421	40,493	838,087		9,820	12,350	12,191	763,233	40,493	

【参考資料様式６】

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名　　愛知県

(1) 事業主体名	瀬戸市
(2) 施設名称	瀬戸市クリーンセンター
(3) 工期	令和 5 年度　～　令和 7 年度
(4) 施設規模	処理能力 88 kℓ/日
(5) 形式及び処理方式	高負荷脱窒素処理方式
(6) 地域計画内の役割	本市から発生するし尿、浄化槽汚泥の適正処理を継続するとともに、CO_2排出量を 3%削減することにより、地球環境保全に寄与する。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有　　㊙

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) ~~資源化の方法~~	
(9) 資源化物の利用計画	

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) ~~計画処理人口及び~~面積	人口　　人 面積　　m^2
(11) 計画地域の性格	

(12) 総事業計画額	1,946,844 千円 うち、交付対象事業費 740,246 千円

【参考資料様式７】

施設概要（浄化槽系）

都道府県名　愛知県

(1) 事業主体名	瀬戸市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置に要する経費に対して補助金を交付する。
(4) 事業期間	令和３年度　～　令和７年度
(5) 事業対象地域の要件	(人口) 面積　沖縄　離島　奄美　豪雪　半島　過疎　その他
(6) 事業計画額	交付対象事業費　　３１，７５４千円 うち　*(以下の事業を実施する場合)* ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費　　千円 ・公的施設単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費　　千円

○　事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (359 人分)	基準額合計	総事業費	交付対象 事業費
5 人槽	38 基（190 人分）	12,616 千円	12,616 千円	12,616 千円
6～ 7 人槽	17 基（119 人分）	7,038 千円	7,038 千円	7,038 千円
8～10 人槽	5 基（50 人分）	2,740 千円	2,740 千円	2,740 千円
11～20 人槽	基（　　人分）			
21～30 人槽	基（　　人分）			
31～50 人槽	基（　　人分）			
51 人槽以上	基（　　人分）			
宅内配管費	24 基	7,200 千円	7,200 千円	7,200 千円
撤去費	24 基	2,160 千円	2,160 千円	2,160 千円
改築費（災害）	基			
改築費（長寿命化）	基			
浄化槽整備効率化事業費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び管理適正化推進費			
合　計	60 基（359 人分）	31,754 千円	31,754 千円	31,754 千円

【参考資料様式８】

計画支援概要

都道府県名　　愛知県

(1)　事業主体名	瀬戸市		
(2)　事業目的	基幹的設備改良事業のため		
(3)　事業名称	基幹的設備改良事業に係る工事発注支援事業	基幹的設備改良事業に係る実施設計事業	基幹的設備改良事業に係る長寿命化総合計画策定支援事業
(4)　事業期間	令和 4 年度	令和 5～7 年度	令和 3 年度
(5)　事業概要	基幹的設備改良事業を実施するにあたり、発注支援等を行う。	基幹的設備改良事業を実施するにあたり、実施設計を行う。	基幹的設備改良事業を実施するにあたり、長寿命化総合計画策定支援を行う。
(6)　総事業計画額	5,830 千円 うち、交付対象事業費 5,830 千円	56,957 千円 うち、交付対象事業費 56,957 千円	3,300 千円 うち、交付対象事業費 3,300 千円

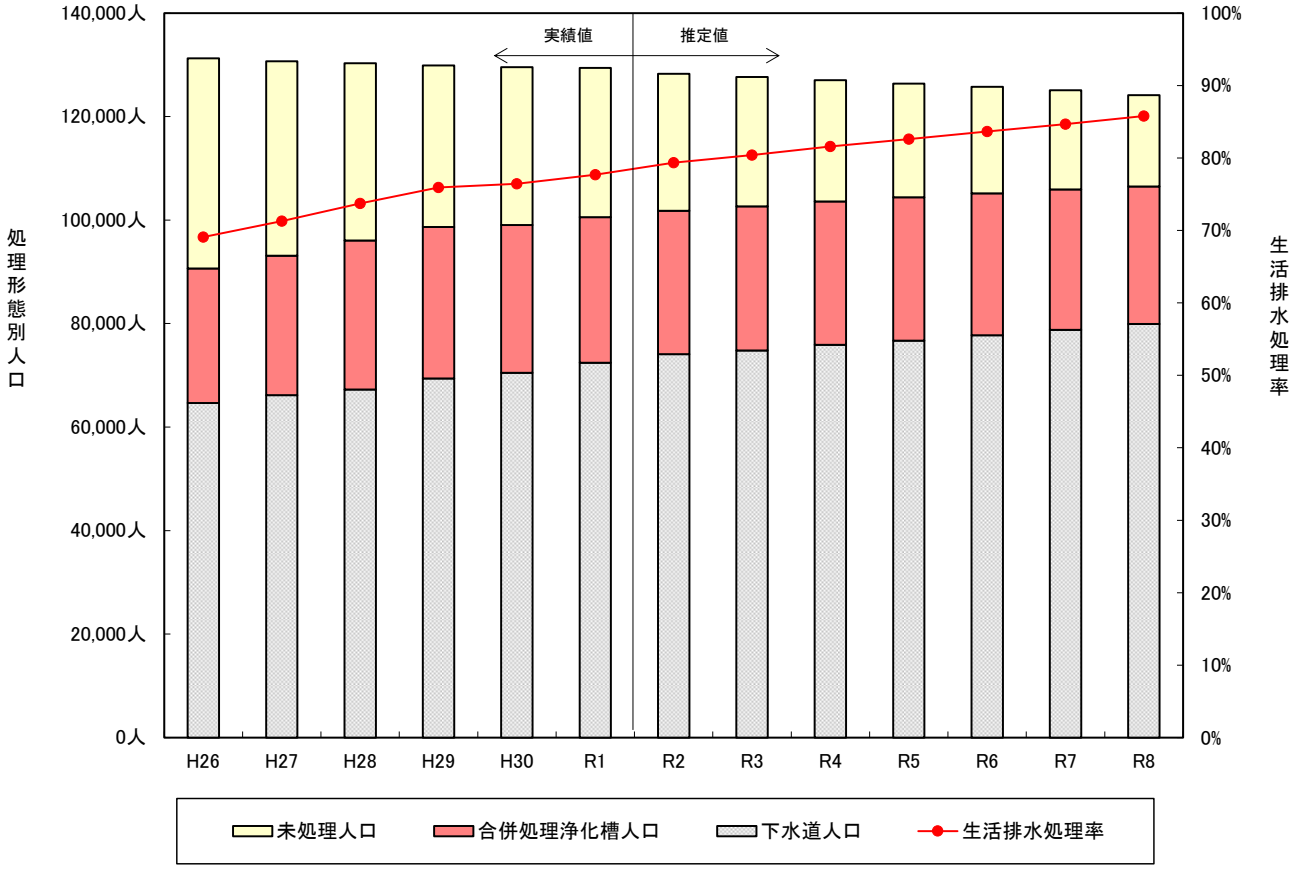
【添付資料１：人口等指標のトレンドグラフ】

生活排水処理形態別人口のトレンドグラフを資料表－1、資料図－1 に示す。

資料表－1　生活排水処理形態別人口実績

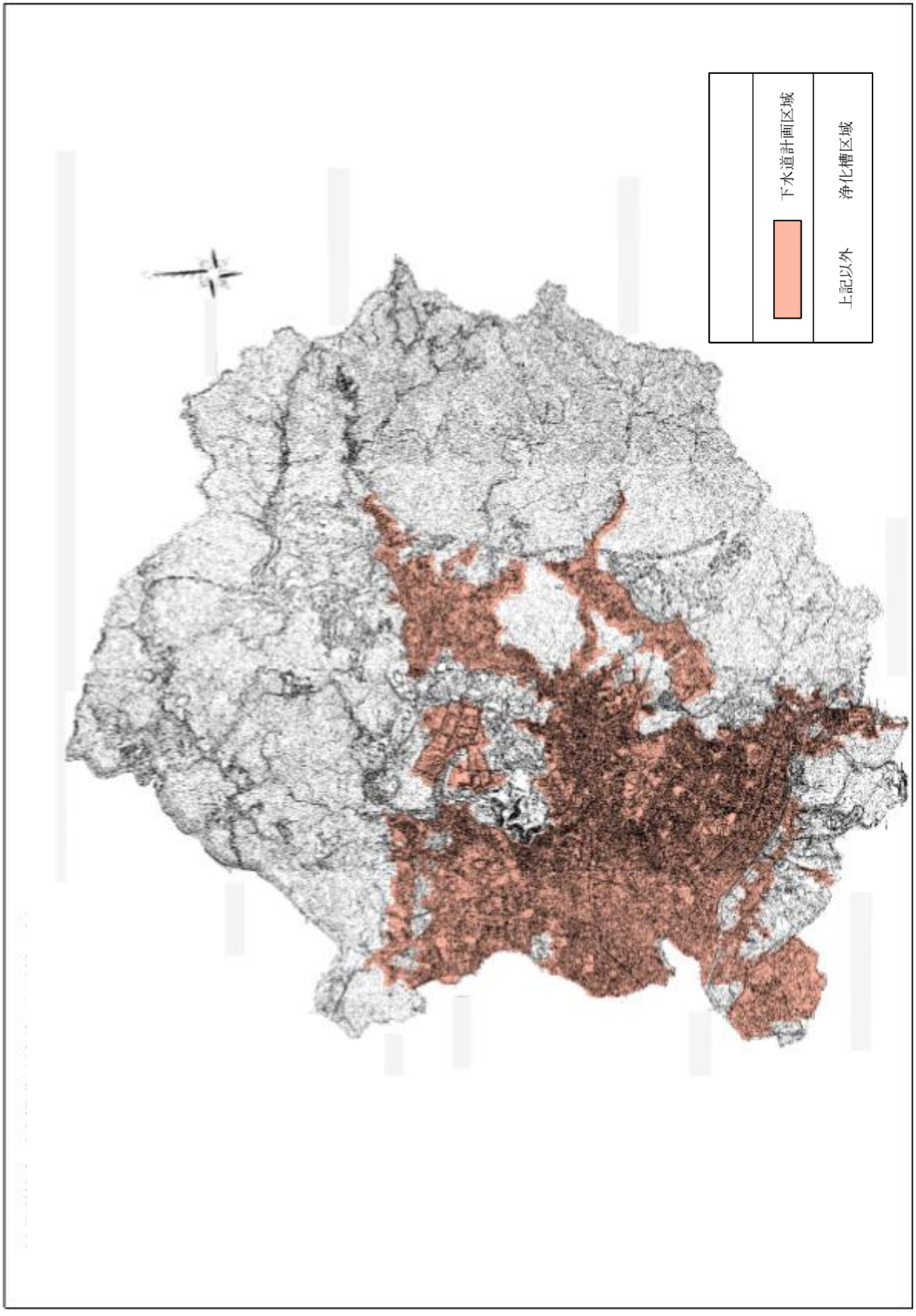
（人）

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
人口	131,269	130,676	130,298	129,900	129,550	129,410	128,280	127,640	127,010	126,370	125,740	125,100	124,120
下水道人口	64,637	66,185	67,272	69,394	70,473	72,445	74,075	74,785	75,895	76,715	77,725	78,765	79,945
農業集落排水人口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ｺﾐｭﾆﾃｨ･ﾌﾟﾗﾝﾄ人口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合併処理浄化槽人口	26,031	26,949	28,793	29,255	28,564	28,111	27,731	27,854	27,713	27,666	27,460	27,172	26,537
未処理人口	40,601	37,542	34,233	31,251	30,513	28,854	26,474	25,001	23,402	21,989	20,555	19,163	17,638
生活排水処理率	69.1%	71.3%	73.7%	75.9%	76.4%	77.7%	79.4%	80.4%	81.6%	82.6%	83.7%	84.7%	85.8%

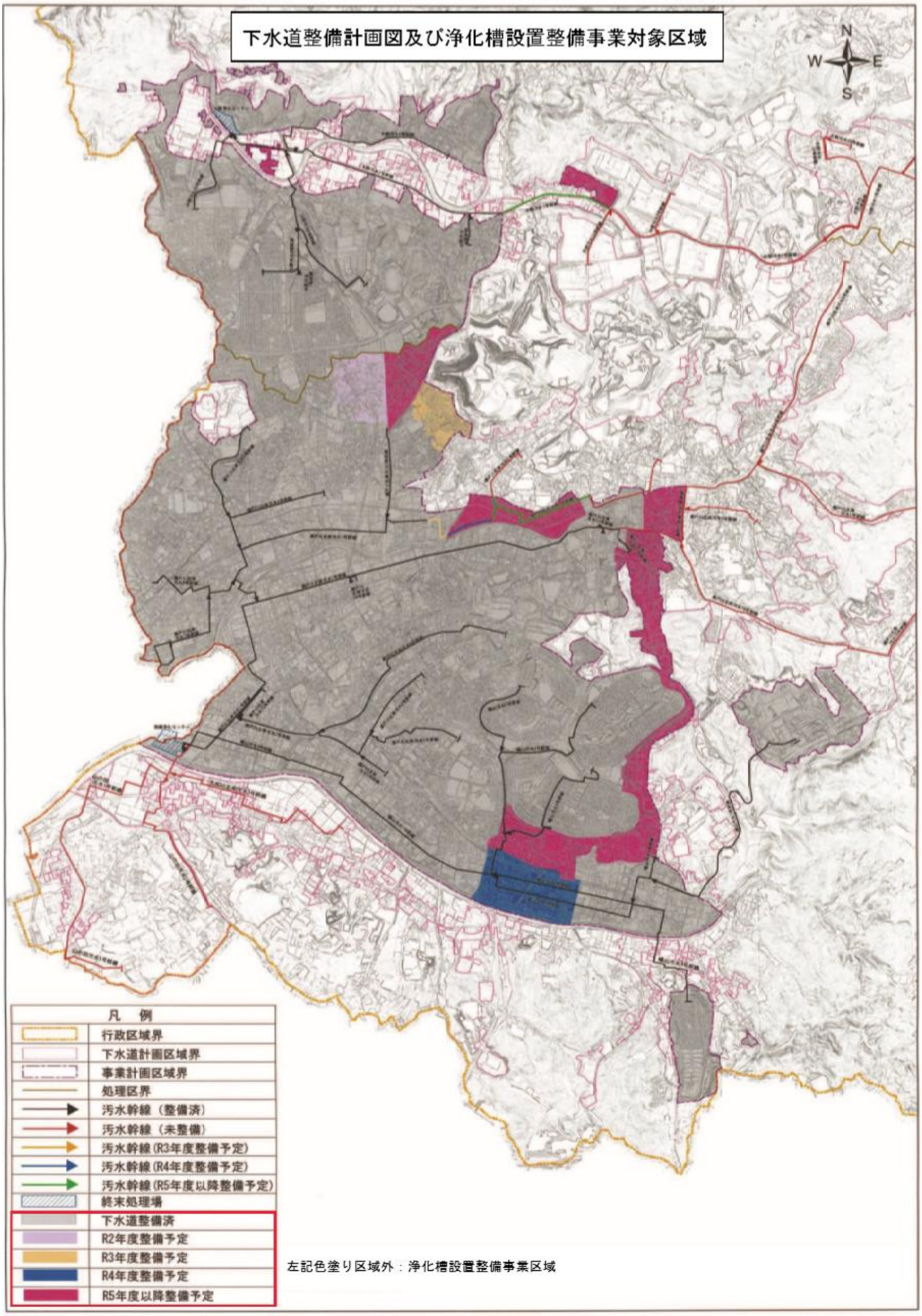


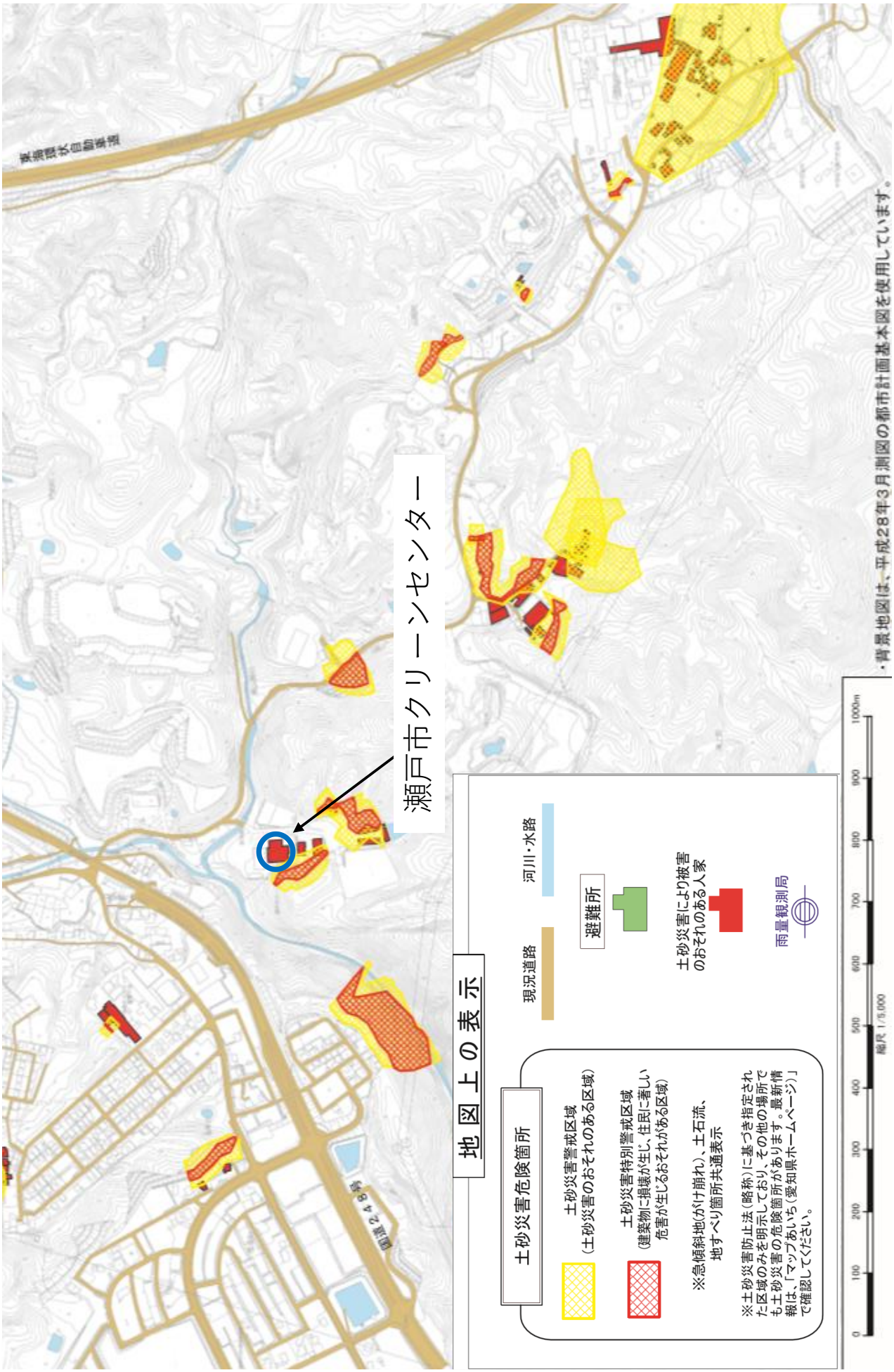
資料図－1　生活排水処理形態別人口トレンドグラフ

【添付資料２：浄化槽整備区域図】



【添付資料２：浄化槽整備区域図】



【添付資料３：既存施設の位置】

【添付資料４：土砂災害ハザードマップ】